

令和4年第9回

羅臼町教育委員会議事録

令和4年第9回羅臼町教育委員会

1 日 時 令和4年9月21日(水) 13時30分～14時45分

2 場 所 羅臼町役場3階第5・6会議室

3 出席者

教育長	石 崎 佳 典
委 員	萬 屋 志都子
委 員	葛 西 良 浩
委 員	芦 崎 拓 也
委 員	佐々木 美 穂
教育指導主幹	横 澤 英 三
学務課長	平 田 充
社会教育課長	野 田 泰 寿
総務管理係	黒 田 一 気

4 欠席者 なし

5 傍聴者 なし

6 議 題

報告 第11号 諸会議・諸行事について

7 その他

(1) 主幹通信について

【開 会】

○石崎教育長

それでは、これより令和4年第9回教育委員会を開催いたします。

開催に先立ちまして一言ご挨拶申し上げます。

先日9月9日から14日にかけて羅臼町議会第3回定例会が開催され、芦崎委員の1期4年間の任期が9月20日で満了することに伴う再任についての議案が議会の同意により再任が承認されております。

芦崎委員には10月1日から新たに任期4年間ということで、令和8年9月30日まで引き続き羅臼町教育委員会教育委員としてご尽力頂くようお願い申し上げます。

また、私も前教育長の残任期間の満了となる9月30日を迎えるにあたり、議会初日に教育長再任について議会の同意により承認されました。

つきましては、令和4年10月1日から令和7年9月30日までの3年間の任期となりますので、引き続きよろしくようお願い申し上げます。

それでは会議に入らせて頂きます。

本日、全委員が出席されておりますので会議は成立といたします。

本日の議事録署名委員につきましては、萬屋委員と佐々木委員をお願いいたします。

本日の議題は、報告事項として、報告第11号「諸会議・諸行事について」の1件となっております。

議事に入る前に、私より行政報告をさせていただきます。

一点目は、新型コロナウイルスの感染状況についてです。

前回8月の定例教育委員会以降、町内の福祉施設でクラスターが発生するなど、未だに毎日感染者が確認されている状況となっております。

町内の学校では、9月10日に知床未来中学校の体育祭が晴天の中で開催されましたが、陽性者が複数確認されたことに加えて濃厚接触者が多数いたことから9月13日火曜日から16日金曜日までの期間、羅臼小学校1年生、春松小学校3年生、知床未来中学校3年生を学校長と協議の上、学年閉鎖の措置をとりました。

その間、幼稚園でも陽性者が確認されており幸いにも重症化したとの報告は受けておりませんが、行動制限がない状況において陽性者の待機期間が短縮されるなどの状況変化がありますので、感染対策の重要性が増しているところです。

引き続き学校と連携して感染拡大防止を図ってまいります。

二点目は、道外での児童生徒の事故についてです。

先日、静岡県でバスへの置き去りによる児童の死亡事故が発生しました。

当町はスクールバスの運行がなく路線バスを利用して登園している園児がおり、登園時には職員を添乗させています。

静岡県事故発生後、本庁から安全管理の徹底を求める通知が届いており、当町においても事故防止の観点から、職員間の出欠状況の情報共有及び園児の人数確認などについて改めて点検し、安全管理に努めてまいります。

なお、9月22日に開催する園長・副園長会議において改めて、対応等について確認することとしております。

以上、行政報告といたします。

それでは、議事に入ります

【議 事】

●報告 第11号 諸会議・諸行事について

○石崎教育長

それでは、報告第11号「諸会議・諸行事について」担当課長から説明をお願いいたします。

○学務課長

報告第11号「諸会議・諸行事について」ご説明いたします。

諸会議・諸行事につきまして、9月から10月の主な予定を掲載しております。

学務課の所管行事の今後の予定としまして、9月22日に知床未来中学校で「一日防災学校」が実施されます。

なお、小学校につきましては9月5日に羅臼小学校、9月15日に春松小学校でも既に一日防災学校を実施しております。

9月30日を「英検の日」として、各小学校、中学校、高校で英語検定を行う予定となっております。

10月1日に春松幼稚園、10月2日に羅臼幼稚園でそれぞれ運動会が開催予定となっておりますが、春松幼稚園については新型コロナウイルス感染症の状況により、開催延期を求める声もあることから日程変更の可能性がある状況となっております。

10月20日は第14回「知床学士」の検定試験実施日となっており、試験結果は10月26日の第2回知床学士認定制度運営委員会で合否判定が行われます。

私からは以上です。

○社会教育課長

続きまして、社会教育課の所管行事の今後の予定についてご説明いたします。

9月8日に第73回北海道女性大会が札幌市で開催され、来年5月に羅臼町を会場に全道大会が開催予定となっていることから、引継ぎを兼ねて羅臼町女性連の会長以下役員数名と社会教育係長が出席しております。

9月15日には各小、中学校において「少年芸術劇場」が開催されております。

9月23日には今年度2回目の「DIY講座」を実施し、GENCOMPANY 代表の村上氏を講師にお招きし、鮭箱の古材を使った『バードハウスづくり』を開催する予定となっております。

10月に開催予定であった「第30回クナシリ眺望駅伝競走大会」は先般の羅臼町体育協会の役員会において、新型コロナウイルス感染症に対する万全な感染防止対策が困難であることを理由に開催中止となっております。

10月22日から26日まで「二科会写真展」が羅臼町民体育館らうすぽにて開催予定となっております。

現在、高校生の水産教室についてはダイビング実習が続いており、テレビ番組の取材の依頼があったため日程調整を行いながら実施しております。

引き続き、図書館事業については、読み聞かせ事業及び図書館バスの巡回を定期的に実施予定となっております。

最後に郷土資料館の事業についてです。

9月25日に郷土資料館をスタートとする日本遺産モニターツアーが実施される予定となっております。

郷土資料館2階に国後島に関する資料及び知床いぶき樽の常設展示室が完成したことに伴い、10月15日に「新設展示室開設記念事業」を計画しております。

近日中に教育委員の皆さまにもご案内させていただきますのでぜひご参加ください。

以上です。

○石崎教育長

報告第11号について、ご意見、ご質問はございますか。

○葛西委員

学務課所管事業の「一日防災学校」は春松小学校で9月8日と15日の2回実施されているようですが、間違いありませんか。

○横澤主幹

当初、9月上旬に各小学校で一日防災学校を計画しておりましたが、議会日程の都合により春松小学校の一日防災学校を15日に変更しております。

しかし、例年、釧路教育大学の協力を得て一日防災学校で実施している、小学校6年生の「津波学習」は大学側との調整の都合上、春松小学校で9月8日、羅臼小学校で9月9日に実施し、一日防災学校の取り組みの一環として実施しております。

○石崎教育長

担当課長からの説明にもありましたが、郷土資料館に国後島に関する資料や知床いぶき樽の展示室が新たに設けられ、10月15日土曜日に新設展示室開設記念事業を予定しており、北海道博物館の学芸員の協力を得ながら、展示物の解説を行うこととなっています。

休日ではございますが、教育委員の皆さまにもご案内させていただきますので、ぜひ足を運んで頂ければと思います。

他に報告第11号について、ご意見、ご質問はございますか。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

それでは、報告第11号「諸会議・諸行事について」は承認されました。

以上で議事を終了いたします。

【その他】

●指導主幹通信について

○石崎教育長

その他として、「教育指導主幹通信について」報告をお願いいたします。

○横澤主幹

(主幹通信について説明)

7月26日に実施された『道研「地域連携共同企画支援研修」講座・羅臼町教師力向上研修』の参加者事後アンケートの結果がまとめ、講座1の『「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり』が5点満点中、受講者平均4.7点の高評価となっており、先生方のニーズにあった講座であったと感じております。

講座2の『デジタル教科書を活用した授業の構築』も5点満点中、受講者平均4.2点の評価となっており、期待していた数値よりは高評価であったものの、講座1と比較すると低い数値になっておりましたので、来年度は更に参加者のニーズに合った研修を実施できればと考えております。

次に別冊資料として全国学力・学習状況調査結果概要における児童質問の回答結果がまとまりましたので紹介しております。

小学校、中学校それぞれの児童が、「学習に対する興味関心」「規範意識・自己有用感」「生活習慣」「家庭学習」「読書習慣」「その他」という質問について回答し、それぞれの質問に対する集計結果をまとめておりますのでご確認願います。

なお、全国学力・学習状況調査の結果につきましては、学校毎に保護者向けのお便りを発行し、正答率や児童質問の回答の傾向と課題について各家庭に周知されることとなっております。

以上です。

○石崎教育長

ただいまの報告について、ご意見、ご質問はございますか。

○佐々木委員

児童質問と学習状況調査の結果から読書習慣が学力向上に密接に関わっているという印象を受けたので、ぜひ各家庭やPTAに対しても読書習慣の重要性をお知らせできればと思います。

○横澤主幹

家庭での読書習慣を身に付けてもらうため、一貫教の取組みとして「家読」のPRを進めていく計画としており、引き続き読書習慣の定着にむけて進めて参ります。

○石崎教育長

その他に、ご意見、ご質問はございますか。

○芦崎委員

中学校3年生の国語と数学の正答率の低さが目立っていますが、学習状況調査の出題範囲について確認させてください。

また、保護者向けに調査結果を周知していますが、調査結果に対する反応はありますか。

○横澤主幹

中学校3年生の正答率が全国や全道平均と比較して低いのは間違いありませんが、昨年度からは正答率が良くなっている傾向が見られます。

出題内容については実施時期が4月ですので、調査対象となっている小学校6年生と中学校3年生、それぞれ前の学年までの学習内容が出題範囲となりますが、出題範囲が特定されているわけではないため継続した学習が必要となります。

調査結果の周知に対する保護者からの反応については、これまで特に把握しておりません。

○芦崎委員

児童質問により、各世代でテレビゲームやSNS、動画視聴の時間が長くなっているという状況もあるようですが、職業も多様化しており、SNSや動画配信により生計を立てているような職業も社会的に認められてきているため、一概に否定的なデータとして受け止めず、理解する必要があると感じます。

一方で、将来社会に出た時には「一定程度の学力をつけることも重要」ということを認識させる必要もあると感じました。

○萬屋委員

児童質問の傾向から、中学生になると徐々にSNSやゲームを含めた趣味の時間と、読書習慣や家庭学習の時間の生活のバランスが偏っているように見受けられるため、中学校3年間を通じて生活習慣のバランスがとれるような指導を家庭や学校で継続していく必要があると思います。

特に小学生と比較し、中学生は一日の時間の使い方を自分で決められるようになって

てくるので、改めて生活習慣は家庭教育の一環であることを保護者にも認識してもらう働きかけが必要であると感じています。

○芦崎委員

羅臼町は現在、高校入試がなく、羅臼高校へ進学する中学3年生は学力的な目標やモチベーションを高校入試に向ける状況とはなっていません。

その状況で一定の学力が身につかないまま高校に進学し、卒業後社会に出る際には、将来の選択肢が狭まってしまいます。

高校存続の問題と並行して、一定の学力を身に付けさせる取組みについても教育委員会で考えていかなければいけないと感じます。

○石崎教育長

生活習慣と学力は密接な関係にあり、小学校、中学校で身に付けるべき学力の習得のために先生方に引続きご尽力頂き、生活習慣や読書習慣は家庭教育によるところが大きいことから、学校と家庭それぞれでのアプローチが必要となると感じます。

○葛西委員

長時間のSNSや動画視聴、テレビゲームが学力に影響してくるということもあるのかもしれないが、例えば将来の目標が「YouTuber」という子どもたちの割合が増えている時代で、「YouTuber を目標にしているから普段の動画視聴が増えている」という考え方はYouTuber になったことのない大人の想像によるところが大きいと感じます。

YouTuber を目標としたときに身に付けておくべき知識や技術、成功までの苦労を学校の先生方が伝えることはおそらく困難であるため、YouTuber による講演会などを企画してYouTuber で成功するためのハードルや苦労を子どもたちが体感したときに勉強することの重要性がわかるのではないのでしょうか。

その上で、「諦める」「突き進む」の選択のタイミングを作ることも重要と感じます。

○萬屋委員

様々な職業の方の講演会を企画する中で、いわゆる「YouTuber」のような方も講師として招き、子どもたちに将来の選択肢を見せてあげる形がいいと考えます。

○社会教育課長

羅臼町では現在、「高校受験」という競争がなくなっており、多くの子どもたちにとって学力を伸ばす意欲を生み出すタイミングが減っている面もあります。

○学務課長

今の羅臼町の制度では、羅臼高校への進学を希望する中学3年生は競争を伴う高校入試を経験することなく進学し、本人の希望どおりであるかどうかを考慮しなければ、全ての卒業生が進学又は就職している状況にあり、中学生3年生の学力が全国や全道平均を下回っている現状について、生徒自身や家庭で問題として捉えられていない可能性があると思います。

○佐々木委員

学力を伸ばす上で家庭学習も重要ではあると思いますが、最も大事なのは「学ぶことが楽しいと思う学校での授業」だと思っており、それを補ったり、促したりするのが家庭の役割になるのではないかと思います。

一番望ましい形としては、学校の授業だけで一定程度の学力が身につくことですが、現実としてそれが難しい状況であると感じます。

今後、講演会等を企画する際には保護者も一緒に参加できるような方法を取り、親子で将来について考えられるきっかけを作ることも必要ではないでしょうか。

○石崎教育長

先生方には教師力向上研修会などスキルアップに繋がる取組みに積極的に参加して頂いており、質の高い授業をできるよう努力して頂いています。

SNSや動画視聴も含め、インターネットの活用はこれからの時代、必要不可欠な要素であることから、子どもたちの将来の目標がどんな職業であれ、家庭でのインターネットの利用の仕方を含めて生活習慣と学習のバランスを整えることが重要と感じおり、教育委員会での議論を含めて、大人の役割としては「将来の選択肢」を見せてあげることだと考えています。

今後については、外部講師による講演会の開催なども含めて検討いたします。

主幹通信の資料としてお配りした「全国学力学習状況調査結果概要」につきましては、後ほどしっかりとお目通し頂ければと思います。

他に何か、ご意見、ご質問はございますか。

○萬屋委員

学習状況調査結果は学校毎に保護者へ周知されるとのことでしたが、小学生の保護者が中学生の調査結果を知る方法がありますか。

○横澤主幹

小学校、中学校それぞれの結果をまとめた上で、町政だよりに掲載する予定です。

○石崎教育長

他に何か、ご意見、ご質問はございますか。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

その他、事務局より連絡及び報告事項などはありますか。

○学務課長

本日現在の町内の幼稚園、小学校、中学校、高校の新型コロナウイルス感染症の陽性者となったことによる欠席者について報告させていただきます。

本日現在、小学校で1名の報告を受けており、このまま陽性者なしへと向かっていくことを期待しております。

コロナ関連として、国の方針により自宅療養者の療養期間が変更となり、これまで各学校や幼稚園に対して「陽性確認後、翌日から10日間の自宅療養」という指導を行っていましたが、9月7日より「陽性確認後、翌日から7日間の自宅療養の上、症状が無い場合は療養期間を終了してよい」という指導を行っております。

また、陽性者の濃厚接触者を含め、症状が無い自宅療養対象者は「陽性者との最終接触日から7日間の自宅療養」という指導を行っていましたが、「自宅療養5日目に検査を行い、陰性の場合には療養期間を終了してよい」という指導を行っております。

大きく変更となった点として、自宅療養期間中であっても症状軽快から24時間後又は、無症状の場合は食料品等の買い物など必要最小限の外出は可能となりました。

外出する場合には公共交通機関を使用せず、短時間の外出とし、これまで同様マスクを着用するなど、感染防止対策の徹底が前提となっておりますが、自宅療養者でも外出可能であるということを正しく認識し、誹謗中傷に繋がらないよう教育委員の皆さまにも情報共有させていただきます。

以上です。

○石崎教育長

その他、教育委員の皆さまから確認事項などはございますか。

(意見・質問等は特になし)

○石崎教育長

これで予定されていた議事は終了となります。

本日は大変お疲れ様でした。